

# 中小企業あきた

- 1 岸田文雄政調会長へ要望書を提出…………… 1
- 2 組合代表者からの意見・要望をご紹介…………… 2  
～地区別組合代表者懇談会～
- 3 第69回全国大会提出議案を審議…………… 3  
～東北・北海道中小企業団体中央会連絡協議会～



- 中小企業組合等支援施策情報…………… 4
- 組合・企業探訪…………… 5
- 景況レポート7月分…………… 6
- 話題の広場
- 中央会事業より…………… 8
- アラカルト…………… 9
- インフォメーション…………… 10
- 中央会職員コラム…………… 10



## TOPICS 1 岸田文雄政調会長へ要望書を提出



〔要望書を提出する藤澤会長(右)〕

8月25日(金)、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて開催された岸田文雄政調会長を囲む要望・要請懇談会に藤澤会長が出席し、岸田政調会長へ要望書を提出しました。

このたびの要望では、

- (1)秋田県大雨災害に係る迅速かつ強力な復旧・復興への支援
- (2)革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金の継続
- (3)労働基準法第32条第1項・第2項違反の是正勧告制度運用緩和

についてお願いしました。

特に大雨災害に係る復旧・復興への支援については、「県内各所で、家屋の浸水、鉄道や道路の損壊、農作物・農業施設、中小企業・小規模事業者の事業用施設等への甚大な被害が発生したことにより、激甚災害の指定と併せて当該災害に適用すべき措置を指定する政令が迅速に公布・施行されたことは復旧・復興に向けた大きな前進である。しかし、いまだに事業

活動を再開できず、経営に支障を来している中小企業・小規模事業者を支援するため、復旧に係る補助事業の創設や、県が独自に支援している金融支援等に対する財政支援と地方の中小企業・小規模事業者の事業活動に必要な不可欠である公共インフラの復旧・復興について特段のご配慮をお願いしたい。」と要望しました。

本懇談会では、本会を含む全20団体から要望を受け取った岸田政調会長より、要望を踏まえた挨拶により締め括られました。

本会では、引き続き、様々な機会を通じて要望活動を行っていく予定です。

このたびの大雨により被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

本会では、被害状況の把握や、経営活動に支障を来している皆様を支援するための相談窓口を、本部及び大館、横手支所に設置しておりますので、一日も早い復旧に向け、お困りごと等がございましたら本会までご相談ください。

本会では、組合代表者の皆様より業界(組合)の現況や課題、中小企業・小規模事業者施策に係る意見・要望を広くお伺いし、組合の課題解決はもとより組合同士の連携や地域経済の活性化に結びつけることを目的に「地区別組合代表者懇談会」を開催しました。

本号では、組合代表者の皆様よりお伺いした意見・要望についてご紹介します。

## 国に対する要望等

### 【製造業(木製品)】

脅威となっている海外産の類似商品との差別化を明確にするため、店頭で販売する際に産地表示を義務づけるような施策を講じてほしい。

### 【製造業(繊維)】

- 外国人技能実習機構による審査対象となる期間が、法改正前まで遡及することがないようしてほしい。
- 地域の実情を無視した最低賃金の大幅な引き上げはやめていただきたい。

### 【サービス業(観光産業)】

観光客誘客のためにも十和田湖の視界を遮る国立公園内の樹木について景観の整備を進めていただきたい。

### 【運輸業(トラック)】

- 時間外労働の上限規制が厳しくなり、荷主負担以外においても、高速道路の使用せざるを得ないことから、高速道路料金の見直しをお願いしたい。
- 高速道路路上にトラックの休憩場所が少なく、運送業者のみの努力で解決できる問題でないことから、インフラの整備をお願いしたい。



[大館会場]



[湯沢会場]



[大仙会場]

## 秋田県に対する要望等

### 【商店街】

県道側車道と歩道との側溝部分の水の流れが悪く、現在逆流している箇所がある。ゆえに、冬期間の雪も流れていかず、大変苦慮しているところである。側溝の構造的な問題とみられることから、早期改善をお願いしたい。

### 【製造業(食品)】

いぶりがっこの消費量は増加傾向にあり、生産が追いついていない。主な理由としては原料(大根)不足、加工施設の大規模化ができていないことが挙げられる。県産品の安定生産・増産のためには加工所が不可欠であり、生産力強化に向けた支援をお願いしたい。

### 【建設業(管工事)】

秋田県は東北でも最低賃金。理由は仕事の一括発注によるため。給与へ反映させるためにも、分離分割発注をお願いしたい。

### 【建設業(設計)】

県内において木構造建築が普及しない理由としては、構造設計料が極めて安く、県内に構造設計家が少ないことが挙げられる。木材の利用促進の観点からも、国の指針に従った適正な設計単価での発注を求めたい。

### 【建設業(生コン)】

県は11月～3月の期間、フライアッシュ混合生コンクリートの使用を認めていない。組合独自の研究の結果、弊害が一切ないことが判明したので、通年利用できるよう認めていただきたい。

### 【サービス業(自動車整備)】

技術専門学校において、自動車整備科が設けられているが定員に満たない学校もある。今後生徒が少なくなったとしても、自動車整備科が廃止されることのないようお願いしたい。

### 【木材全般】

県においてはウッドファーストを推進しているが、市町村単位になると地域差を感じる。木材自給率を高めるため県からの指導と木材の利用率のパーセントまで公示いただくようお願いしたい。

### 【卸売業】

地域においては、農業に関しては米以外の特産がなく、県外からの仕入を余儀なくされている。ブランド化を目指した農業振興のための施策をお願いしたい。



## 市町村に対する要望等

### 【商店街】

○駐車場やアーケードは年数が経過しており、メンテナンスや修理には高額な費用が発生することから補助をお願いしたい。

○空き店舗の利用促進の観点から、貸し出したい大家と、借りたい新規事業者のあいだで、情報のミスマッチがありうまく話が進まないことがある。活性化のためにも最大限効果が上がるように対策・実行・情報公開の方法を模索していただきたい。

### 【小売業(化粧品)】

今後観光客が増えた場合に迅速に対応できるよう、免税業者の手續に関する講習会を市の主導により開催していただきたい。

### 【製造業(印刷物)】

印刷物での知的所有権、著作権の帰属について、県との協議を進めていることから、各市町村にまで浸透させることで、十分な対応をいただくようお願いしたい。

### 【建設業】

ダンピング受注が横行しており、国や県では取り締まりを強化している中、市町村までは行き届いていない現状にある。是正する取組を期待したい。

## 中央会に対する要望等

### 【製造業(生コンクリート)】

アウトサイダーとの価格競争により、単価がなかなか上がらない現状である。他の協同組合並の価格水準にまで持っていきたいことから、県及び建設業界に働きかけにご協力いただきたい。

### 【建設業(設計)】

建築に必要な強度の木材が個別に欲しい場合、木材関係の組合と連携できればミスマッチの解消が期待できる。他県では実現している事例もあることから期待したい。

### 【製造業(繊維)】

秋頃より輸送費が更に高くなることを見込まれており、秋田県アパレル産業振興協議会の会員企業がまとまることで運賃が安くなる方策等についてアドバイスをいただきたい。

なお、この度の懇談会で寄せられた要望等については事務局で整理し、「佐竹秋田県知事との懇談会」や国・市等への要望活動につなげ、今後の組合及び中小企業・小規模事業者に対する支援や地域経済の活性化に反映して参ります。



[能代会場]



[鹿角会場]



[横手会場]



[由利本荘会場]



[秋田会場]

**TOPICS**  
トピックス ● SPECIAL FEATURES ●

**3**

## 第69回全国大会提出議案を審議

～東北・北海道中小企業団体中央会連絡協議会～

7月19日(水)、北海道札幌市「札幌パークホテル」において、東北・北海道中小企業団体中央会連絡協議会の会議が開催され、本会からは藤澤会長、伊藤専務理事、畠山事務局次長が出席しました。

会議では、第69回全国大会に提出する議案が審議され、本会から提出した7分野24項目の要望事項について全て承認されました。

本会からの要望を含む、東北・北海道ブロックの要望については、全国中小企業団体中央会の専門委員会等での審議を経て、10月に開催

される第69回全国大会で決議した後、政府、国会等へ要望されることとなります。



[会議の様子]

# 中小企業組合等支援施策情報

## 「2017年版中小企業白書」の概要をご紹介します

「2017年版中小企業白書」によると、中小企業の景況は緩やかな改善傾向にあるが、新規開業の停滞、生産性の伸び悩みに加えて、経営者の高齢化や人材不足の深刻化といった構造的な課題が進行中となっております。本号では、中小企業白書より「新事業展開／売上拡大に関する取組」の概要についてご紹介します。

### ◆ 新事業展開／売上拡大の取組

- ・ 目指す新事業展開の戦略別に、マーケティングの取組状況によって成否に差がある。成功する中小企業は営業部門だけでなく、経営企画部門も市場ニーズの把握に取り組む必要がある。
- ・ 小規模企業がニーズや自社の強みを把握し、PR活動に取り組む場合は、売上拡大の取組(新市場開拓、新商品開発、多角化、事業転換等)において高い効果を感じている。

図1 新事業展開の成功、不成功企業別に見た課題

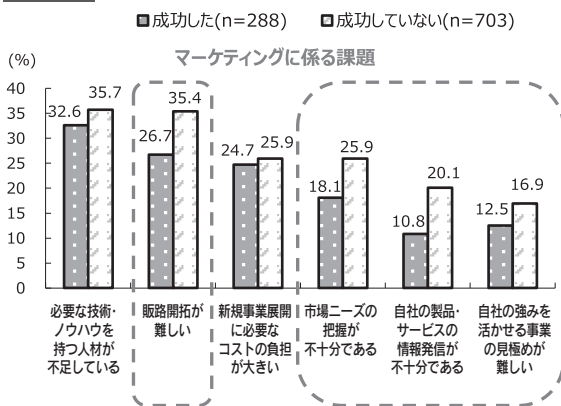


図2 新事業展開の成功、不成功企業別に見た市場ニーズの把握を行う部門

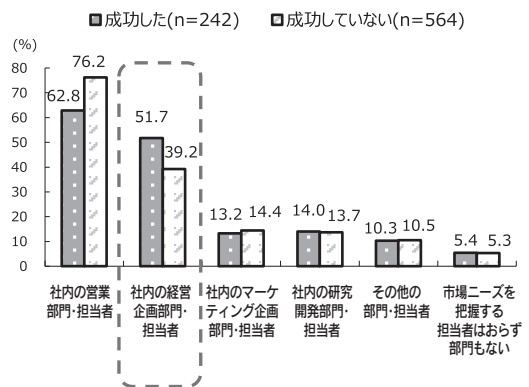


図3 「売上拡大の取組」と売上動向との関係 (小規模企業)

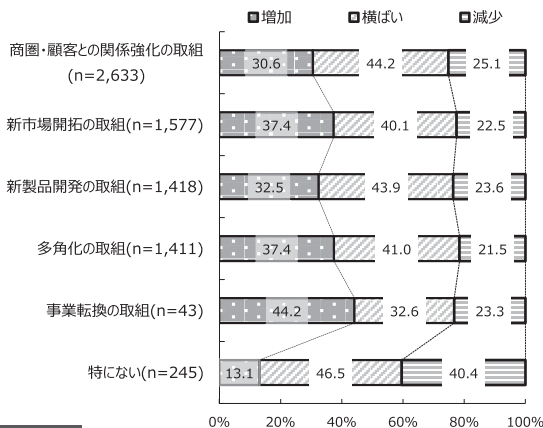


図4 マーケティング活動の実施状況別に見た「売上拡大の取組」の効果 (小規模企業)

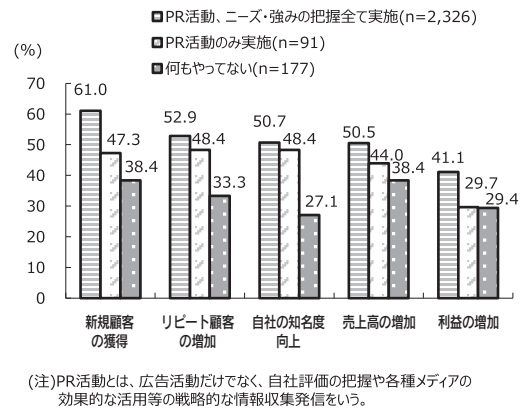


図5 外部リソースの活用状況別に見た課題

新事業展開に当たって外部リソースを活用した企業は、問題を感じていない割合が大きい。

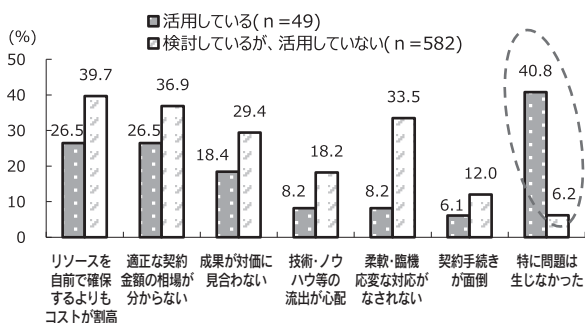
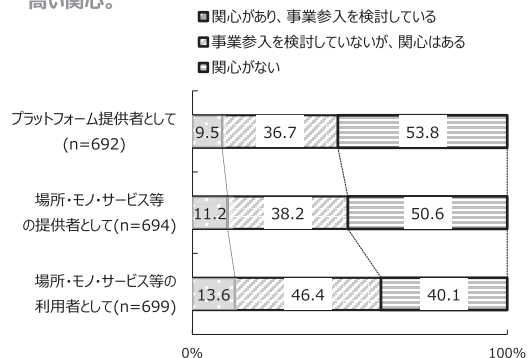


図6 シェアリングエコミーへの関心度

新事業展開分野として、シェアリングエコミーに高い関心。



[出所：2017年版中小企業白書概要(中小企業庁)]



## 海外25カ国へ！世界に羽ばたく「青森の黒にんにく」 ～協同組合青森県黒にんにく協会（青森県）～

青森県において、りんご、ホタテに続く第3の産業へと成長した「ニンニク」。その付加価値化の中核を担い、「青森の黒にんにく」を世界に発信する協同組合青森県黒にんにく協会(柏崎進一理事長)を本号でご紹介します。



〔黒にんにく〕

青森県はニンニクの生産量日本一を誇り、収穫量は全国の3/4を占めるほどです。

「黒にんにく」は、生ニンニクを高温高湿下で熟成加工することで得られる健康食品ですが、歴史も浅く、認知度の低い健康食品でした。

平成17年3月、「発酵にんにくに生より強い抗がん作用」などの見出しで青森県の地方紙に報じられると、産直で販売されていた黒にんにくは即座に完売、多くの青森県企業が次々と市場に参入しました。

翌年、青森県中小企業団体中央会において国の事業を活用し、「黒にんにくの産地化」を目指した取組を開始したことで、黒にんにく加工企業間での横のつながりが構築され、平成20年に任意団体「青森県黒にんにく協会」が組織されました。

平成20年を皮切りに「青森の黒にんにく」は日本全国への拡販の他、海外進出も目立つようになりました。

初期においては欧州のレストラン需要により販路を伸ばし、スペイン、ドイツ、フランスなどの三ツ星レストランに採用されましたが、中でも5度世界一(英紙レストランによる評価)に輝いたスペインの「El・Bulli(エル・ブジ)」に採用され、オーナーシェフであるフェラン・アドリア氏からの評価が得られたことでブランド価値が大きく向上しました。

しかし、ブランド化が進む一方で、知名度の向上に伴い、中国産や電子ジャー等で簡易に製造された黒にんにくが流通段階で散見されるようになり、売場での品質問題が顕在化しました。

この事をきっかけに、「青森の黒にんにく」の一層のブランド化を目指して平成25年9月6日に「協同組合青森県黒にんにく協会」を法人化、平成27年度には地域団体商標「青森の黒にんにく」の登録など、知財の活用に加え、研究機関とコンソーシアムを構築し、成分規格化の取組を進めるなど、ブランドとしての新たな一歩を踏み出しています。

現在、組合が最も注力している事業は、共同宣伝事業の一環である「世界黒にんにくサミット」です。9月6日を「黒にんにくの日」として日本記念日協会へ正式に登録し、9月6日に日本全国、世界から黒にんにく製造者、科学者、料理人等呼びサミットを開催しています。

平成28年9月の世界サミットでは、安倍首相に黒にんにく料理を振る舞ったルクセンブルクのシェフRenato Favaro(レナト・ファヴァロ)氏を招聘し、各国から集った500名に世界の黒にんにく料理が提供されるなど、黒にんにくの料理需要喚起に向けても業界一体となった事業を進めています。



〔サミットの様子〕

組合では、2020年における組合員の黒にんにく売上高目標を20億円に設定しています。また、黒にんにくのブランド化による価格向上によって生ニンニクの出荷額も120億円、黒にんにく以外の加工品の売上も35億円へと伸びており、全体で約170億円産業へと成長していることから、早期に200億円に押し上げることも目標としています。

現在、黒にんにくは、全米を含む海外25カ国へ展開しており、青森を黒にんにくの聖地とするための取組が続々と生み出されています。従来の健康機能性を売りにした販路開拓に加えて、サミットを新商品開発の披露の場とすること、また、黒にんにくを活用した料理を提供することで料理素材としての裾野を拡げ、まだ進出していない国々を含めた新市場への開拓も期待されるなど、今後の取組も注目されます。

### 【協同組合青森県黒にんにく協会】

- 代表者名 柏崎 進一
- 所在地 青森県上北郡おいらせ町木崎158  
木崎野中小企業協同組合内
- 設立 平成25年9月
- 会員数 9名(平成29年8月現在)

# 景況レポート

(7月分・情報連絡員80名)

## 製造業で景況感が後退

### 【概況(全体)】

7月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが8.8%(前回調査13.8%)、「悪化」が37.5%(同40.0%)で、業界全体のDI値は-28.7となり、前月調査と比較し2.5ポイント下回った。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は、製造業、非製造業とも全国及び東北・北海道ブロックを下回ったことから全体のDI値についても低調に推移した。

### 【業界別の状況】

業界別では、卸売業や建設業などの一部で好転したとする向きが見られるものの、食料品製造業、小売業、商店街などで業況の悪化割合が増加したことで景況感が後退した。

なお、全体の景況感は、全国的な猛暑と夏期需要が関連商材を中心に売上高を下支えしたが、他方では豪雨被害による需給不調や物流の混乱が広範に生じており、また雇用難や輸入資材のさらなる高騰等、国内外の諸要因が経営全般におけるコスト上昇に一層の拍車を掛けている。

### <全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-28.7	-17.9	-22.7
製 造 業	-34.3	-16.3	-23.3
非製造業	-25.0	-19.2	-22.3

### <景況天気図>

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製 造 業						
非製造業						

#### 【凡例】

快晴 30以上  
 晴れ 10以上 30未満  
 曇り △10以上 △30超 10未満  
 雨 △30以下  
 雷 △30以下

#### 【天気図の見方】

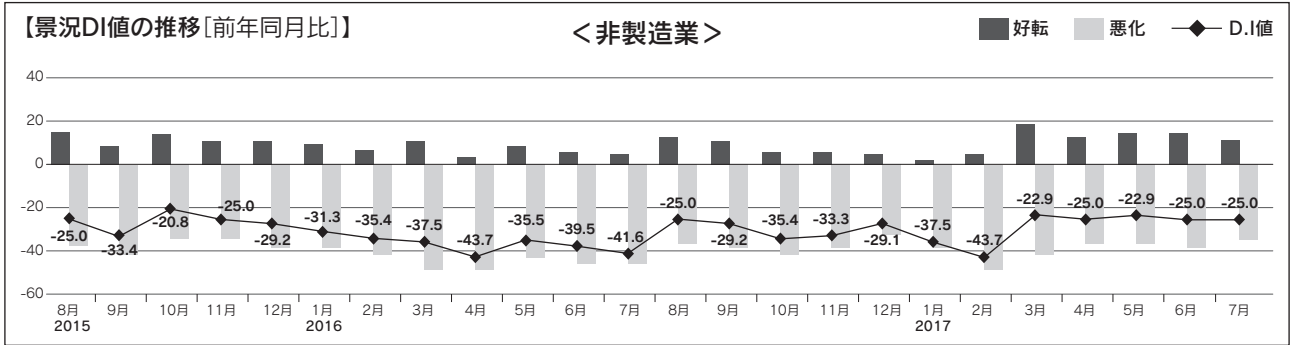
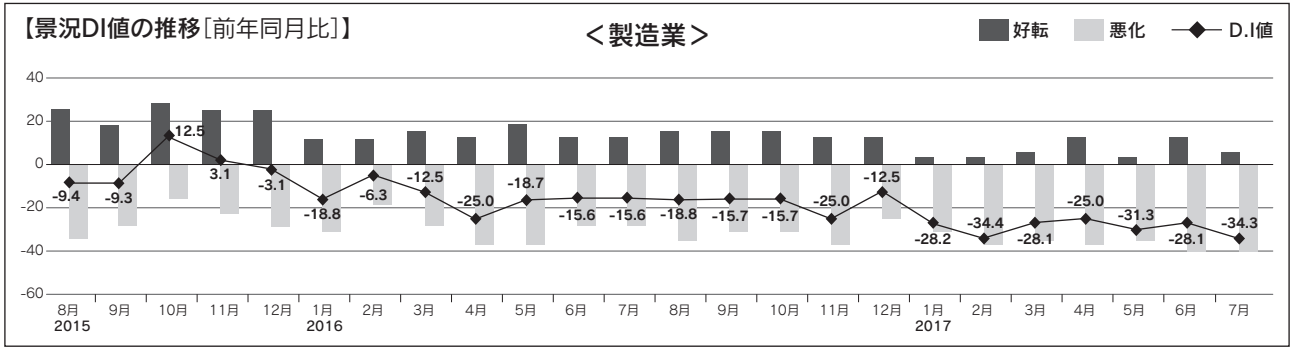
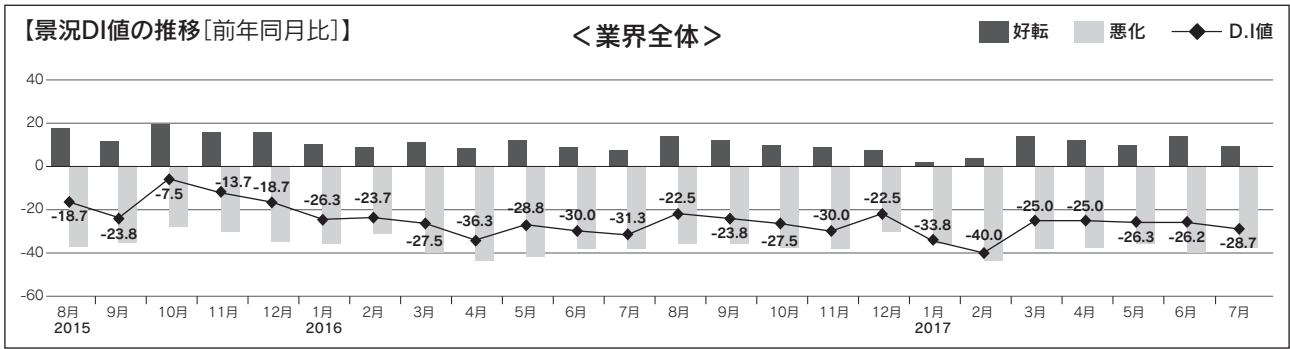
前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

### 【業界の声】 ~製造業~

(回答数：32名 回答率：100%)

食料品 (豆腐)	売上、数量ともほぼ前年並みで推移した。一年中では一番売上の低迷する時期であり、景況は良くない。
食料品 (パン)	天候不順、特に暑さの影響が大きく、売上は不振であった。原材料価格の値上がりは続いている。
食料品 (菓子)	今年は暑く全般的に生和菓子の売上が減少し、菓子業界にとって厳しい状況である。夏季にかき氷を販売するお店も多くみられ、かき氷販売の出だしは好調のようである。
繊維工業 (ニット)	秋物生産の最盛期であり、各社ともフル稼働している。ただ、先月までの店頭販売状況が不調なことから、在庫過多を理由に加工賃の値下げ要請が例年より強く、価格交渉に苦労している。
木材・木製品 (一般製材)	製品の販売量は前年同月比では微増であるが、製品販売価格は据え置きとなり、景気回復の実感はない。大雨により林道が壊れ、原木の伐採・搬出が出来ない被害が出ている。搬出が遅れると虫食いが発生し、製品の歩留まり悪化の要因となっている。
木材・木製品 (素材生産)	合板原木については、各合板工場の稼働率が向上しているが、これまでの工場の手持在庫が多いことから納材量は横ばいで推移している。なお、生産量については、虫害等から素材生産量が減少しており、在庫は減少。製材用原木の生産量及び消費については、製材品の需用が安定していることから順調に推移している。
窯業・土石製品 (生コンクリート)	7月の出荷数量は、前年比96.7%、4月～7月累計で94.0%となった。本荘由利地区(前年比73.5%)、県南地区(前年比76.7%)が厳しい状況である。特に県南地区は昨年8月から1月出荷数量分を除いて11カ月前年を下回っている。
鉄鋼・金属 (機械金属)	好調だった前年同月期に比べ、今年は民間・公共工事ともに動きが鈍く回復には至っていない。
鉄鋼・金属 (鉄鋼)	6月後半より7月に入り、官公庁、民間とも物件が活発になっている。手持工事も9月～10月頃までは各社とも受注を確保している状況にある。
一般機器 (金属加工)	受注動向は好調に推移している。原材料の鋼材価格は上昇傾向にあり、依然として単価、納期等取引条件の厳しいものが多い。

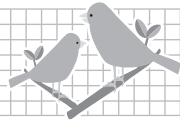


【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

卸売業 (青果)	7月の売上は、前年同月比92.4%で推移した。県内外の記録的大雨被害により、野菜によっては入荷数に偏りがみられた。
卸売業 (卸団地)	需要の停滞を感じる企業が多く、特に建設資材、文具関係、日用雑貨等を取り扱う業者が苦戦している。
小売業 (自動車)	7月の新車販売台数は、登録自動車が2,308台(前年同月比96.3%)、軽自動車が1,871台(同115.3%)で、合計4,179台(同104.0%)であった。軽自動車は4カ月連続して2桁の伸びとなったが、登録車は10カ月ぶりのマイナスとなった。
小売業 (石油)	ガソリンの小売価格は、1ℓあたり130円00銭で前月比0.2円の値上がり、軽油は1ℓあたり110円60銭で前月比0.8円の値下がり。原油価格は上昇したが、為替が円高に振れたことで末端価格は小幅な値動きとなった。
商店街	中元の時期となり、関係する業種が一部では忙しい状況にあるが、全体としては昨年対比で悪化している。(鹿角市)
サービス業 (自動車整備)	7月の自動車検査台数実績では登録車が3.0%の減少、軽自動車が0.5%の微増、全体では前年同月比で1.6%の減少となった。4月～7月の全体の累計が前年同期比で5.4%の増加となっている。
サービス業 (タクシー)	運送収入の減少が続いているが、乗務員不足によるものである。地区によっては天候に大きく左右されている。乗務員1人当たりの運送収入は増えている。
建設業 (管工事)	管材の動きがあまり無いが発注工事は少しずつ出てきており、来月以降に期待している。
建設業 (電気工事)	暑さの影響で一般住宅のエアコン取付工事等の需要があった。また、県内一部地域の豪雨による河川の氾濫で床上浸水などの被害があったことで電化製品の需要があった。住宅以外では、建物の改築・改装があり、先月に比べると良い状況だった。(中央地区)
運輸業 (トラック)	荷動きは前年比ではあまり変わらないが、前月比は全体的に上向き傾向にある。(中央地区)





## 中央会事業より

### 中小企業組合の今後の在り方について学ぶ

～組合役職員スキルアップセミナー～

本会では、組合役職員のスキルアップを目的に、毎年様々なテーマを設定し、各分野に精通した専門家を講師に招いた「組合役職員スキルアップセミナー」を開催しています。

8月8日(火)、秋田市の「ホテルメトロポリタン秋田」において第1回セミナーを開催し、組合役職員27名が出席しました。

第1回テーマである「中小企業組合を取り巻く環境と今後の在り方」について、講師の明治



[森下教授]

大学政治経済学部教授の森下正氏は、「人口減少やグローバル経済化など外部環境は著しく変化するなか、これからは社会性の高い中小企業・組合を目指さなくてはならない。地域社会に選ばれる組合になる

ことは、組合員企業の繁栄にも繋がる。また、①感謝され、応援される運営、②期待(予想)以上の感動を与える運営、③拡大よりも充実(手間暇かける)の運営に取り組むことにより、利害関係集団が幸せになる組合を目指して欲しい。」と話すなど、事例を交えた講演に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

なお、第2回・第3回セミナーは次の内容のとおり開催します。組合役職員の皆様のご参加をお待ちしております。

[第2回： 9月26日(火) 午後2時～5時]

課題解決のためのアイデアの導き出し手法

[第3回：10月24日(火) 午後2時～4時]

効率的な情報発信の手法について

～SNS等のツール活用とセキュリティ対策～

〈お問い合わせ先：商業振興課 ☎018-863-8701〉

### 官公需の受注拡大に向けて

～官公需受注対策懇談会～

8月25日(金)、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、官公需受注対策懇談会を開催しました。

本懇談会は、官公需の受注機会の拡大に向けて毎年開催しており、今年度は指定管理者をテーマに設定し、富山県砺波市の庄川峡観光協同組合の事例について学びました。

講師を務めた川崎和夫副理事長からは、組合が指定管理業務を行うに至ったプロセスや苦勞した点などを交えながら、「指定管理業務の遂行にあたって大切なことは、絶対的なリーダーを据えることである。志を共有する仲間と困難を乗り越えられれば、道は必ず開けると信じている。指定管理業務を行うまでは親睦団体に過ぎなかった組合が、行政機関等の協力のもとで今日まで至ることができた。新しい収益事業の1つとして参考にさせていただきたい。」との話があり、参加者は熱心に聞き入っている様子でした。



[庄川峡観光(協)川崎副理事長]

引き続き、秋田県建設部建設政策課ならびに秋田県出納局総務事務センターより、発注・入札等の状況等について情報提供がなされたあと、官公需受注に向けた要望・意見を伺うための懇談を行いました。今回寄せられたご意見・ご要望につきましては秋田県官公需受注対策協議会と連携し、行政機関への要望に繋げていく予定です。



[懇談会の様子]

#### <お知らせ>

今年度、本会事業で支援を行いました協同組合大湯温泉観光協会(八重樫學理事長)が平成30年4月オープン予定の観光拠点施設「湯の駅おおゆ」の指定管理者の指定候補者として鹿角市より選定されました。

正式には9月の市議会での議決をもって指定となる予定であり、指定管理者として今後の組合活動が大いに期待されます。



## ■中央会会長賞は「あきた美人ピクルス三種じゅんさい」に決定

～あきた食のチャンピオンシップ2017～

7月13日(木)、秋田市の「秋田テルサ」において、「あきた食のチャンピオンシップ2017」の表彰式が開催されました。

「あきた食のチャンピオンシップ」は、秋田の新しいお土産や特産品の開発を目指し、秋田県が毎年開催しているもので、食品部門に56社より全70点、工芸部門に14社より全23点が出品され、佐藤勘六商店(にかほ市)の「いちじく甘露煮 山ぶどう仕立て」が食品部門金賞(秋田県知事賞)、秋田・川連塗 寿次郎(湯沢市)の「ぐい呑み 縄文」が工芸部門金賞(秋田県知事賞)を受賞しました。

また、食品部門奨励賞(秋田県中小企業団体中央会会長賞)には、合同会社地域とともに(松井範明社長)の「あきた美人ピクルス三種じゅんさい」が選ばれ、松井社長は「このたび賞をいただけたことが、秋田県の皆様に商品を知っていただくきっかけとなりました。当商品は、保存料や着色料を一切使わず、生じゅんさいのプルプル感を残しました。地元の方が食べる「つる」や「つぼみ」も入っていて、変わった食感も楽しめます。調理をせずすぐに食卓に出せるという手軽さも特長です。今後は、県内の販売店はもちろん、全国の百貨店やスーパー、こだわりのお店など販路を拡大していきたいと思っております。県外にいる秋田県の皆様にも

故郷の食品として手に取っていただきたいです。」と話しており、今後の販路展開が期待されます。

なお、受賞商品は、秋田市のあきた県産品プラザ(アトリオン内)などで販売されるほか、本会事務所入口横のショーケースにも展示する予定でありますので、本会までお越しの際には是非ご覧ください。



あきた美人ピクルス三種じゅんさい  
【秋田県中小企業団体中央会会長賞】

## 新理事長紹介

役員改選により、下記の方々が新理事長に選出されましたので、ご紹介します。

秋田県生コンクリート協同組合(秋田市)  
理事長 佐藤 健二さん

組合員名：秋田中央生コン株式会社  
役 職：代表取締役  
改 選 日：平成29年6月29日

湯沢米商協同組合(湯沢市)  
理事長 齊藤 昭宏さん

組合員名：齊修商店  
役 職：代表  
改 選 日：平成29年8月2日

## ■組合ロゴマークを制定 ～秋田県花卉小売商業協同組合～

秋田県花卉小売商業協同組合(佐藤政則理事長)では、今年度、組合のロゴマークを新たに制定しました。佐藤理事長は「花で幸せな気持ちになれるようにという思いを込めてロゴマークを作成しました。店頭にはシールを貼ることで、組合加盟店であることをお客様に伝えるツール



【佐藤理事長】

として活用しながら、花を飾るというゆとりある生活の提案を通じて、お客様に信頼いただける店舗となれるよう組合全体で取り組んでいきたいです。」と話しており、今後の組合活動にも期待されます。

として活用しながら、花を飾るというゆとりある生活の提案を通じて、お客様に信頼いただける店舗となれるよう組合全体で取り組んでいきたいです。」と話しており、今後の組合活動にも期待されます。



【ロゴマーク】

人事異動のお知らせ

【秋田県中小企業団体中央会】(8月3日付) ※( )は前職

総務企画部総務企画課主事(事業振興部工業振興課主事) 藤嶋 樹里

満タン&灯油プラス1缶運動に御協力ください！ ～秋田県石油商業協同組合～

秋田県石油商業協同組合(西村紀一郎理事長)では、9月1日(金)から「満タン&灯油プラス1缶運動」を組合員のガソリンスタンド345カ所にて実施します。

ドライバーや各家庭が、日頃から大規模災害に備えて、「車のタンクは満タン」に、「灯油は多めの軒先在庫」を心掛けるよう習慣づけることで、世帯個々の災害対応力は格段と高まります。本取組は、災害に備えるという観点から、全国

の約2万3千のガソリンスタンドが参加することで、ドライバーや国民の「安心・安全」に繋げることを目的に、今年から全国一斉に開始されます。

最寄りのスタンドでのぼりやポスターをお見かけの際は、本運動へ是非ご参加ください。



[ポスター]

中小企業組合士になろう！！ ～中小企業組合検定試験のお知らせ～

全国中小企業団体中央会では、中小企業組合役職員の資質向上と組合士制度の普及を目的に、来る12月3日(日)に中小企業組合検定試験を実施します。

本試験に合格し、組合等で3年以上の実務経験を有する方は、全国中小企業団体中央会から組合運営のエキスパートである「中小企業組合士」として認定されます。

願書の受付期間が10月13日(金)までとなっていますので、受験を希望される方はお早めにお申し込み下さい。

- 試験科目：「組合会計」、「組合制度」、「組合運営」
- 試験日：平成29年12月3日(日)
- 試験場所：秋田県社会福祉会館  
(秋田市旭北錦町1-5)
- 受験料：5,000円(一部科目免除者は3,000円)

今年度も「受験対策講座」を実施します

本会では、試験前の受験対策講座を下記により実施します。本講座は、組合事務局の資質向上や日常業務の参考となる内容となっていますので、組合役職員の皆様におかれましては、是非ご参加下さい。

- ◆開催日(予定)  
第1回：平成29年10月25日(水)  
第2回：平成29年11月15日(水)
- ◆開催時間(予定)  
両日とも 10:00～16:10

[お問い合わせ先]

本会 商業振興課 ☎018-863-8701

中央会職員コラム

本会では、皆様に中央会の職員をより身近に知っていただくため、「中央会職員コラム」を連載しております。どうぞご覧下さい。

本年度より採用となりました、総務企画課の岡田です。今年3月に青森県の弘前大学を卒業し、地元秋田に戻って参りました。

学生時代はバントフリングというスポーツに中学・高校の約6年間熱中し、その反動で大学ではあまり体力を使わない書道を始め、省エネな大学生活を過ごしてきました。現在も休日は大学時代の省エネ生活を引きずりつつありますが、良い気分転換になるような新たな趣味を模索中です。

日々の業務においては、会員組合の皆様と直接お会いできる機会は多くはありませんが、自己啓発に繋がる資格の取得などを継続して行うことを心がけ、後に何らかの形で貢献することができるような土台作りをしていきたいと考えています。

まずは、中小企業組合士資格の取得を第一の目標とし、中央会職員として必要な知識を身につけ、実務経験を積み、スキルアップに励むつもりです。

また、今後意識して取り組みたいことは、「思考力を高めること」です。期日を意識して計画を立てることや、その場の状況に即して臨機応変に計画を変更するなど、日常生活においても思考を働かせなければならない状況に直面することはよくありますし、うまく物事が進まなかった場合であっても、まずは思考を働かせて原因を追求し、打開策を考えることが重要になります。普段から思考力を高めることを心がけ、日々の業務を効率的かつ円滑に進めていくことができるようにしていきたいです。

社会人生活も5ヶ月目となりました。今後も私ができるべきことは何なのかと常に思考を働かせながら、日々の業務に取り組んでいきますので、どうぞ宜しくお願い致します。



[記 総務企画課 主事補 岡田悠]



官公需適格組合  
『カデル』

## 秋田管工事業協同組合

理事長 本多 秀文  
副理事長 松木 文雄  
" 太田 博之

秋田市山王臨海町3番18号  
☎018(862)6161/FAX 018(824)5685

地域と共に



秋田県遊技業協同組合

理事長 新井昌吉

原点復帰、基本に戻って

## 千代田興業株式会社

代表取締役社長 藤澤正義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反 170-49  
TEL 018(864)6200(代)  
建設事業部：秋田市川尻町字大川反 170-19  
TEL 018(888)3666  
URL : <http://www.k-chiyoda.jp>

## 損害保険・生命保険



保険と暮らしの相談センター

株式会社 **アキタ保険**



本社

〒010-0951 秋田県秋田市山王6丁目5-9  
TEL 018-864-6921 FAX 018-864-6922  
URL <http://www.akitahoken.co.jp>

フレスポ本荘店

〒015-0011 秋田県由利本荘市石脇字田頭141-1  
TEL 0184-24-5511 FAX 0184-24-5512

## あいおいニッセイ同和損保

**MS&AD** INSURANCE GROUP

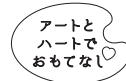
秋田支店

〒010-0951 秋田市山王2丁目1-43  
TEL : 018-896-1680

## ピカソ&ドガ 常設展示中

ピカソ 1階 ロビー ドガ 6階 特別ラウンジ

巨匠が描いた貴重な原画を間近で楽しむひととき。  
6階の特別ラウンジではお食事プランもございます。



Akita  
Castle Hotel

秋田キャッスルホテル 秋田市中通一丁目3-5 Tel:018(834)1141

保険とリース、相続・事業承継のご相談はお気軽にどうぞ!!

## 株式会社 保険&リース 北日本ベストサポート

URL <http://www.knbs.jp>

本社 〒010-0967 秋田県秋田市高陽幸町8番17号  
TEL.018-883-1888 FAX.018-883-1822

県南営業部 TEL.0187-66-3622 能代東支店 TEL.0185-58-2116  
酒田支店 TEL.0234-75-3370

For Earth, For Life  
Kubota

# 野菜と暮らそう。



まごころと技術でこたえる・・・

株式会社 **秋田クボタ**

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38  
Tel : 018-845-2121 Fax : 018-845-6600

株式会社

## 八幡平貨物



一般区域貨物自動車運送  
原木・木材の伐出及び仕入・販売

秋田県鹿角市八幡平字谷内下モ平116-12  
TEL 0186-34-2011  
FAX 0186-34-2013

商工中金は、国とともに、  
中小企業をサポートする公的金融機関です。

- 特長その① 長期的な視点で安定したお取引
- 特長その② 中小企業の経営課題に対応する総合的な支援
- 特長その③ 全国と海外のネットワークでビジネスをサポート
- 特長その④ 協調と連携で地域経済の活性化の力に



本店 東京都中央区八重洲2-10-17  
[www.shokochukin.co.jp/](http://www.shokochukin.co.jp/)

秋田支店 018(833)8531  
〒010-0001 秋田市中通2-4-19



個人のお客さま向けの定期預金です。

高めの金利設定 (当金庫内比較)

固定金利の半年複利 (元本保証)

1年、2年、3年から期間が選べる

安心、確実、お得に増やす



中小企業あきた

平成29年9月1日発行 (毎月1日発行) 第688号

発行/秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎ 018-863-8701 FAX 018-865-1009

印刷/秋田活版印刷(株)

定価280円

2017

9  
Sep